SABUROKU
System

DRMR490series

取扱説明書

このたびは、デジタルインナーミラーをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

◉ご使用にあたり、この取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。
◉イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。
◉本製品のデザイン、仕様は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめて、大切に保存してください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください） …… 2
■使用上のご注意（必ずお守りください） …… 5
■商品構成一覧表 …… 6
■各部の名称と働き …… 8

準備

■取り付けについて …… 9
■microSDカードについて …… 19
■電源オン/オフについて …… 22

操作方法

■録画について …… 23
■再生モード …… 30
■駐車監視録画について …… 25,34
■PCビューワーについて …… 35
■ビューワーソフトで映像ファイルを再生する手順 …… 36

その他

■最大録画可能時間について …… 37
■トラブルシューティング …… 38
■仕様 …… 41
■保証書 …… 44

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
⚠ 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
⃠ 禁止	絶対にしてはいけない事項
❗ 強制	必ず守るべき事項

⚠ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店までご依頼ください。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

⃠ 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

⃠ ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

⃠ 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

❗ 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する。

DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。
※常時ケーブルは24V非対応となります。

故障や異常のまま使用しない

煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく

バッテリーのマイナス端子⊖を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドア等）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

雷が鳴り出したら、シガーアダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
●本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
●記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
●本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
●本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取付中はエンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意する

⚠ 緊急録画で記録された動画は上書き保存されません。ファイルが増えるとmicroSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなることがあります。必要に応じてファイルを削除してください。

商品構成一覧表

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。



【DRMR490】
・シガーアダプター 3.4m
・フロントカメラ 1m
・Type-Cカメラ分岐ケーブル 0.3m
・リアカメラ
・リアカメラケーブル 10m
・純正ミラー固定用ベルト
・リアカメラ取付けブラケット
　室内用×1
　室外用×1
・高耐久microSDカード32GB

専用オプションパーツ



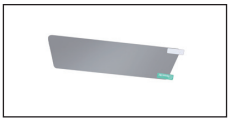
GPSアンテナ



常時ケーブル



純正ミラー交換ブラケット



反射防止フィルム
※写真は説明用となります



リアカメラロングケーブル 15m

商品構成一覧表（つづき）

⚠ 使用上のご注意

シガーアダプターについて

●付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることや電力不足により正常に動作しない場合があります。

●シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。また、エンジン始動時やアイドリングストップ時、電圧不安定により正常に動作しない場合があります。この場合は、エンジン始動後にシガーライターを接続しご使用ください。

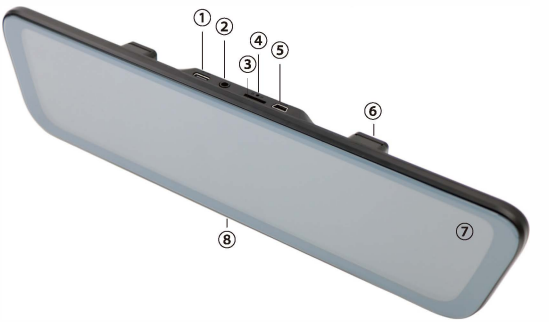
●シガーアダプターにて電圧変換を行っているため、配線加工やカットを行い電源を直結しないでください。本機が故障します。

本機の日付と時刻について

●本機の日付設定にて設定してください。（P.28を参照してください）

●オプションのGPSアンテナを装着した場合は、GPSを受信すると自動で設定されます。
本機の日付と時刻は動画ファイルの表示画面に記憶されます。
※GPSを受信できない環境に長時間保管された場合、時刻にずれが生じることがあります。

各部の名称と働き



NO.	名称	働き
1	AV-IN	付属のカメラ分岐ケーブルを使用して本体と各カメラを接続します。
2	GPSアンテナ接続端子	オプションのGPSアンテナを接続します。
3	microSDカードスロット	microSDカードを挿入します。(最小 8GB ～ 最大 128GB) Class10対応
4	リセットボタン	本機が正常に動作しない場合、クリップ等で長押ししてリセットください。 ※本機を必ず電源ON時に作業を行ってください。
5	miniUSB	付属のシガーアダプターまたは常時ケーブル(オプション)を接続します。 ※分岐したソケットや、ケーブルに接続しないでください。 十分な容量が確保できる部分に接続して下さい。
6	ミラー固定金具	純正ミラー固定用ベルトまたは専用ブラケット(オプション)を取付します。
7	液晶モニター	画像がフルスクリーンで表示されます。 ご使用前に保護フィルムを剥がしてください。
8	電源ボタン	ボタンを押すと画面オフとなり、長押し(約3秒)で電源オフとなります。

取り付けについて

取り付けのご注意：
本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

【1】到着後、1週間以内に商品構成部品が揃っているかご確認ください。

■本機の取り付けには、専門の知識•技術が必要です。必ず専門の取付業者様で取り付けをお願い致します。
■道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
■車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
■視界の妨げにならないように取り付けてください。
■ミラー面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
■同梱品のシガーアダプター以外のものを使用しないでください。
■車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
■本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。
■ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できます。
■シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

【2】取扱説明書をしっかりお読みの上、まずmicroSDカードを入れず、シガーアダプターにて電源を接続し、フロント・リアカメラ・各配線・部品を仮接続し動作確認を行い正常動作を確認してから各配線の取り回しを行ってください。
（ノイズが発生した場合、電源の取り出し位置の変更や、配線の取り回し位置を変更することにより改善する場合がございます）
この時、正常動作しない場合は、トラブルシューティングをご参照いただき、それでも改善しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

取付方法 / 純正ミラーに被せる方式

取付前に純正ミラー上部に2cm以上の隙間があるかご確認ください。
※本製品の上部に配線を差し込む為のスペースが必要となります。

1. 固定用バンドを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。（図1）
2. 純正ルームミラーを挟み込んで、固定用バンドを取付固定具の下側に引っ掛けます。（図2）
   ※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
3. もう一つの固定用バンドも同じ方法で取り付けて、本体の位置を調整します。
   ※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
4. 本機が確実に装着されていることを確認の上、使用してください。



図1



図2

※本製品を取り付ける事により、純正ミラーの重量が増すため、ミラーが下向きになる場合がございます。これは純正ミラーの構造や個体差により、同じ車でもなる車、ならない車がございます。この症状による返品、交換はお受けしておりませんので予めご了承ください。

取付方法 / 純正ミラー交換方式（オプション）

取付前に純正ミラー交換ができる台座かご確認ください。

1. 純正ミラーを取り外してください。ネジで固定されている場合はネジを緩め取り外し
ネジがない場合は内張り外し等で浮かしながらルーフ側にスライドし取り外してください。

純正ミラーを取り外して残った台座を利用して取り付けます。（高さ 約29mm 下部幅約25mm）



2. 本製品ミラー固定金具に専用ブラケットを取り付けます。

ミラー固定用フックのラバーを剥がし、固定しているネジを外してください。
4ヶ所同様に取り外し、ネジはブラケットベースの固定に使用しますので大切に保管してください。**→ P.12へ**



取付方法 / 純正ミラー交換方式（つづき）

1. 専用ブラケットを専用ブラケットベースに
   ブラケット同梱のネジ（M3×14）を使用し、
   ネジに合わせたエ具でしっかりと締め付けて
   ください。



2. ミラー固定金具に専用ブラケットベースを P11 ネジカバー固定のネジ（M2×4）を使用し、
   ネジに合わせたエ具でしっかりと締め付けてください。



3. 純正ミラーを取り外した台座に取り付け
   ます。
   ※専用ブラケットの長さを調整したい
   　場合は、P13 を参照してください。

取り付けについて（つづき）

専用ブラケット調整



付属のブラケット長さ
長さを短くする場合→②へ
長さを長くする場合→⑤へ



付属のブラケットより短くする場合、ブラケットのネジを外し延長ブロックを抜きます



付属のM4×10mmのネジに替えしっかりと締め付けます



付属のブラケットより1.5cmミラー位置が上がります



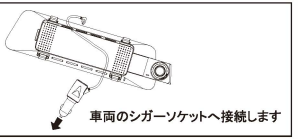
付属のブラケットより長くする場合、付属の延長ブロックを追加し、M4×45mmのネジに替えしっかりと締め付けます



付属のブラケットより1.5cmミラー位置が上がります



電源ケーブルの接続



1. エンジンがオフになっていることを確認してから、同梱のシガーアダプターを車両のシガーソケットと、本体の電源ケーブル接続 miniUSBポートにそれぞれ接続します。

ご注意

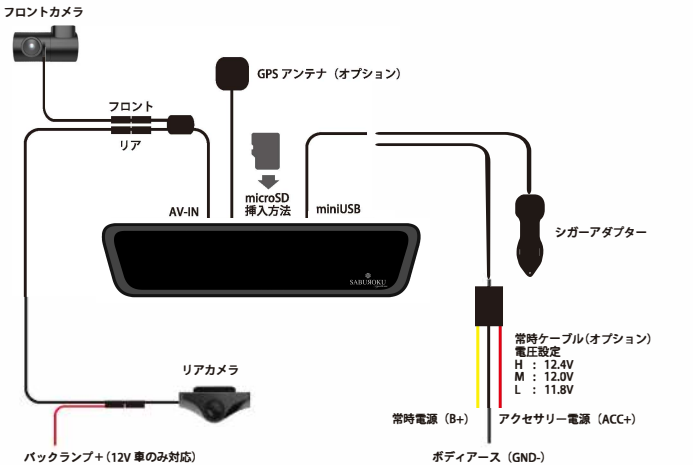
- シガーアダプターは必ず付属品をお使いください。付属品以外のシガーアダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーアダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて熱が冷めた状態でシガーアダプターを接続してください。
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。

常時ケーブル（オプション）の接続については、P14/P25を参考にお取り付けください。

取り付けについて（つづき）

ケーブルの接続

◆ 車両に装着する前に必ず仮接続を行い通電テストを行ってください。



○ シガーアダプターは増設したソケットを使用せず必ず独立したソケットでご使用ください。
○ 常時ケーブル（電圧設定付）は十分な電力が確保できる配線に接続してください。
（ナビゲーションやオーディオ等の配線に接続すると電力不足やノイズの原因となりますのでおやめください）
○ GPSアンテナはダッシュボードの上に設置してください。
（他のGPS機器やVICS受信機の近くに設置しないでください。）

取り付けについて（つづき）

1. リアカメラ取り付けステーをリアカメラに取り付け、レンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスまたはバックドアに貼り付けます。（P.16を参照してください）

   ※リアカメラ角度について、バックランプ＋線に接続した場合、リバース連動のリア映像の角度が変わります。microSDカードを本機に入れることで記憶致します。（12V車のみ）
   ※本機側の画面で下向きに設定すると、バック連動をしても画角が下向きになりません。必ずリアカメラで角度調整を行い、バック連動の角度もご確認の上、調整して下さい。

2. バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線をおこなってください。
   ※リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因となることがあります。

3. フロントカメラは保安基準により運転者の視界の妨げにならない、フロントガラス上部20%以内に取り付けてください。

フロントカメラの接続

1. Type-Cカメラ分岐ケーブルの「Front cam」にフロントカメラを接続してください。

リアカメラの接続

1. Type-Cカメラ分岐ケーブルの「Rear cam」にリアカメラを接続してください。

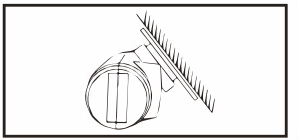
ご注意

- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 取り付け位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- カメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してください。
- 電子機器の性質上、車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他電子機器の近くに設置すると、電波干渉が起きる場合があります。車両アンテナやその他の電子機器とは離れた場所に設置してください。
- プライバシーガラス装着者やスモークフィルム装着者は後部ガラスにリアカメラを装着すると画像が暗くなります。その場合は、バックドア、トランクなどの外装に取り付けてください。

取り付けについて（つづき）

ステップ1　フロントカメラ取り付け

運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部20%以内に取り付けてください。





リアカメラ取り付け

取り付けブラケットでカメラを固定する。室内（リアガラス内側）または室外（トラックン等）に付属のブラケットを使用して取り付けてください。



室内用ブラケットにて固定

室内用ブラケット同梱のネジ、ワッシャーを使用し、ネジに合わせた工具でしっかりと締め付けてください。







室外用ブラケットにて固定

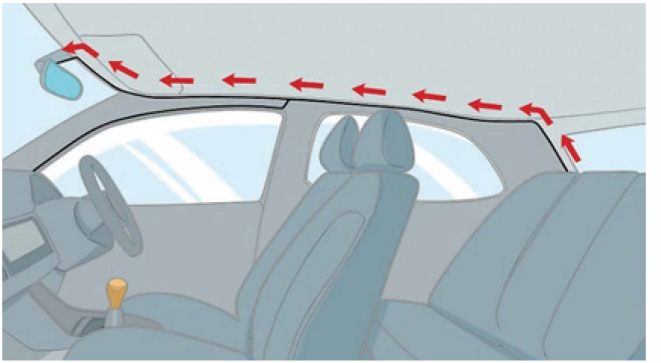
室外用ブラケット同梱のネジ、ワッシャーを使用し、ネジに合わせた工具でしっかりと締め付けてください。



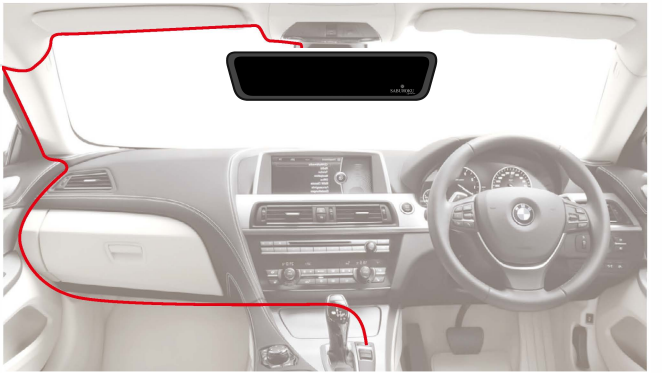


取り付けについて（つづき）

ステップ2　下図を参考にリアカメラの配線を行ってください。

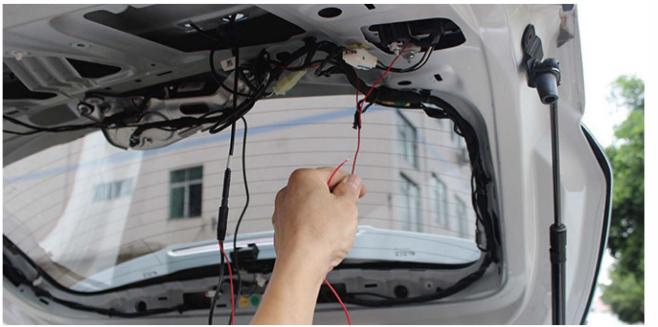


ステップ3　付属のシガーソケットまたは、常時ケーブル（オプション）で本機に給電してください。
付属のシガーソケットまたは、常時ケーブル（オプション）以外の充電ケーブルを
使用しないでください。



取り付けについて（つづき）

ステップ4　赤線をバックランプ＋配線に接続してください。
バックランプの電源線から電源を取ります。車のマニュアルにバックランプの設置場所が掲載されていますので、事前に確認してください。
通常バックランプは車の後側にあります。次にバックギアに入れ電源が流れる＋配線に本製品の赤線配線を接続します。
※ガイドライン表示が必要ない場合は接続不要です。



ステップ5　配線を本製品に接続して動作確認を行ってください。



microSDカードについて

ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

●microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
●本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
●microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
●microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
●microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
●フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
●フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
●思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
●microSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
●本機は、**8GB～128GB Class 10 または UHS-1（読み書き時のデータ転送速度が最低10MB/秒）以上のmicroSDカードに対応しています。**
ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
また、UHS-IIIの製品は対応していませんので、microSDカードのご購入に際しては互換性にご注意ください。



●microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
●microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
●あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
●microSDカードの定期的なフォーマットをおすすめします。フォーマットしないと、正しく録画ができない場合があります。※推奨1ヶ月

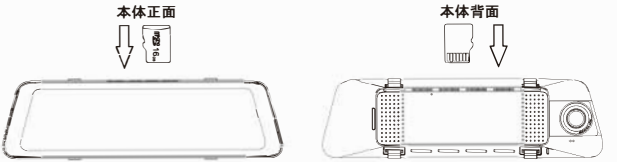
microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入/取り出しする前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

microSDカードについて（つづき）

2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。
※「カチッ」と音がするまで爪先等で奥までしっかりと差し込んでください。

4. microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。



※microSDカードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。
※microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をオフにしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

microSDカードのフォーマット

microSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。
※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

① microSDカードが挿入されていることを確認してください。

②車のエンジンをオン（ACC ON）して、本体を起動します。
※電源オンについてはP22「電源オン/オフについて」を参照してください。

microSDカードについて（つづき）

③設定メニューを表示します。
「◉」録画アイコンをタッチして録画を停止し、
「⚙」設定アイコンをタッチすると設定メニュー画面が表示されます。

④フォーマットを実行します。
　カードフォーマットをタッチして、「はい」でフォーマットを実行します。



ご注意

初めて本機を使用する場合、ご使用前にmicroSDカードのフォーマットをおこなってください。

●フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定され、車両が停止している状態でおこなってください。
●フォーマット中は本機の電源を切らないよう、ご注意ください。

電源オン/オフについて

電源オン

エンジンをかける(ACCオンする)と自動的に電源オンになり、オープニング画面が表示されます。

電源オフ

エンジンを切る(ACCオフする)と自動的に電源オフになります。

オプションの常時ケーブルを接続した場合は、「タイムラプスモードに入ります」と表示しタイムラプス録画を行います。
※画面はオフになります。

ご注意

<エンジン連動ON機能について>
本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源を一度外してから、再度接続して電源を入れるようにしてください。
また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかった場合は、通電をおこない、充電をするようにお願いいたします。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>
アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります。
その場合、電源を一度外してから、再度接続して電源を入れるようにしてください。

録画について

録画の種類

●常時録画(ループ録画)
本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続…

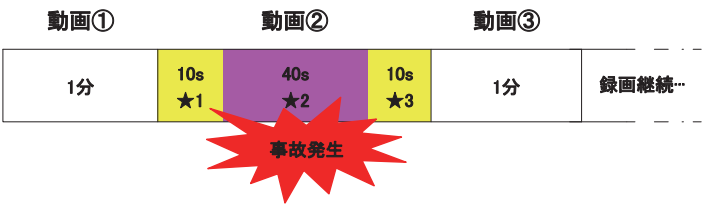
※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをおすすめします。
※常時録画(ループ録画)時間の設定方法については、P 27「設定メニュー画面」を参照してください。
※最大録画可能時間についてはP37「最大録画可能時間について」を参照してください。

●緊急録画

(1)緊急録画とは
録画中、[ ]ボタンをタッチまたは本機に搭載されているセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画を開始します。緊急録画中は、録画中アイコンは黄色になります。
緊急録画で保存されたファイルはロックされ、上書きされません。

(2)緊急録画形式
緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)
※ループ録画設定を「1分間」に設定時、動画①→②→③･･･と録画し続けます。
※動画②の時に事故が発生して、センサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。



録画について(つづき)

★1:動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2:動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3:動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

(3)緊急録画終了時
緊急録画完了後、録画中アイコンは黄色から赤色になり、常時録画(ループ録画)に戻ります。

ご注意

●センサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
センサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
※センサー感度の設定方法については、P 27「設定メニュー画面」を参照してください。
●センサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、上書きされません。
ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。
※ファイルの保存先や削除方法についてはP 30-31「再生モード」を参照してください。
●振動が大きい車両、ローダウン車、マフラー交換した車両は緊急録画が頻繁に行われますのでOFFに設定してください。

タイムラプス録画について（常時ケーブル接続時のみ）

●タイムラプス録画とは
撮影するコマ数を少なくし一定間隔で撮影された画像をつなげ合わすことで早送り再生したような動画を録画再生できる機能です。
本製品は、1秒間に 1枚、2枚、5枚の設定が可能です。

(1) 常時ケーブル接続について（オプション）
本体の電源端子に、常時ケーブルを接続し常時電源（バッテリー＋)、アクセサリー電源(ACC+)、アース(GND－) を車両に接続してください。
※電源電圧をコンピュータ制御している車両の場合は、本製品を使用することにより電源電圧が変動するためご使用いただけない場合がございます。
※必ず決められた配線箇所に接続してください。常時電源を接続しなかったり、常時電源をアクセサリー電源に接続した場合は正常に動作致しません。
(2) タイムラプス電源タイムラプスのオン・オフを設定します。
(3) タイムラプスフレームレート
タイムラプスするコマ数（間隔）を設定します。
録画中の場合は、録画を停止し「設定」→「タイムラプス」→「タイムラプスフレームレート」を選択します。
「 1fps / 秒 」「 2fps / 秒 」「 5fps / 秒 」から、設定したい時間を選びます。
1fps / 秒は 1秒間に1回画像を記録し、5fps / 秒は 1秒間に5回画像を記録します。
(4) タイムラプス時間
タイムラプスを動作させる時間を設定します。
録画中の場合は、録画を停止し「設定」→「タイムラプス」→「タイムラプス時間」を選択します。
「12時間 / 24時間 / 48時間」から設定したい時間を選びます。
12時間はエンジン停止後12時間
24時間はエンジン停止後24時間
48時間はエンジン停止後48時間タイムラプスを動作させる設定となります。

タイムラプス設定後、エンジンを停止させると「まもなくタイムラプスモードに入ります」と画面に表示され画面がオフになります。画面オフになりますが設定した時間録画されます。

■バッテリー保護機能
本製品の電源直結コードは、バッテリー保護のため 12.4V 以下になると設定時間にかかわらず電源供給を停止します。そのため電源供給が停止した場合は、タイムラプスは動作致しません。
※電源電圧をコンピュータ制御にて監視している車両は、電源供給を車両側で停止する場合がございます。この場合、低電圧ではなくてもタイムラプスは動作致しません。

モニター各部の名称と働き



①	00:00	録画中(時間表示)
②	10:19	日付と時刻表示
③		設定やリセット、フォーマットを行います。操作時は録画を停止してから行ってください
④		動画／画像の再生：動画&画像を再生します
⑤		録画のオン／オフ：録画のオン／オフをします
⑥		画面の切り替え：フロントカメラとリアカメラの画面表示を切り替えます
⑦		写真：写真を撮ります（静止画）
⑧		緊急ロック：映像をロックします。ロックされた映像は上書きされません （ロックファイル上書きON時は上書きされます）
⑨		ズーム：ワンタッチで設定した倍率で画像が拡大できます（リア画面のみ）
⑩	N 0Km/h	GPS状態：GPS信号を受信すると、ホーム画面に方角と速度が表示されます GPSアンテナ（オプション）取り付け時のみ

※画像は説明用となり、実際の仕様と異なる場合がございます。

メニュー設定

電源を入れた後、⚙ボタンをタッチして基本設定画面に入ります。
録画中●ボタンをタッチして、録画を停止してから⚙ボタンをタッチして基本設定画面に入ります



●録画解像度	1080P / 720P
●ループ録画	録画は設定した時間でファイル録画されます。
●ボイスコントロール	音声操作をオンまたはオフで設定します。
●録音	映像と共に音声も録音する、しないを選択できます。
●ロックファイル上書き	通常ロックしたファイルは上書きされませんが、この設定をオンにする事によりロックしたファイルも上書きされます。 ※この設定はロックファイル上書きするため重要なファイルを削除、上書きします。 十分に検討の上、設定してください。
●操作音	操作時のタッチ音をオンまたはオフに選択できます。
●リアカメラ鏡像	通常リアカメラ映像は鏡像で表示しますが、オフにすることにより正像で表示することが可能です。
●日付設定	クリックして現在の日時を設定します。
●日時表示	画面右上の日付表示をオン／オフで設定します。
●言語	複数の言語をクリックして使用言語を選択します。 ※初期設定は日本語に設定されています。
●画面オフ時間	画面を自動的にオフにする設定です。なしの場合は、常時液晶がオンになります。
●衝撃センサー感度	衝撃検知の感度を設定します。衝撃を感知した時はファイルをロックします。
●音量	音量を設定します。
●時間表示形式	時間表示は12時間表示または24時間表示を選択できます。
●起動時画面設定	起動時のカメラ映像を設定できます。（フロント / リア / 2画面）
●リアカメラ優先	フロント画面またはフロント・リア画面表示した後、10秒後、自動的にリア画面に戻す設定です。 ※エンジンをオフにした場合は設定に関係なくリア画面が表示されます。
●上下反転表示	リアカメラ映像を上下反転する場合に使用します。
●ガイドライン	バック時ガイドラインの表示を選択します。
●ガイドライン調整	ガイドラインの位置調整が可能です。画面を指で上下左右に動かし調整してください。
●リアカメラズーム設定	ズームの拡大率を設定します。
●設定初期化	すべての設定を初期化します。
●カードフォーマット	microSDカードをフォーマット（初期化）します。
●バージョン	ソフトウェア情報を表示します。

メニュー設定



■ GPSアンテナ（オプション）取り付け時のみ

●GPS情報　GPS受信感度を表示します。
●タイムゾーン設定　世界標準時間と日本時間の時差の設定です。
初期設定は日本時間のタイムゾーンGMT+9が設定されています。
●スピード表示　スピードを表示する単位を選択できます。
●速度警報設定　設定した速度になると警報音を鳴らします。
●方角速度表示　画面左下に方角と速度を表示する設定です。

■ 常時ケーブル電圧設定付（オプション）接続時のみ

●タイムラプス電源　タイムラプスのオン・オフを設定します。
●タイムラプス時間　タイムラプスを動作させる時間を設定します。
●タイムラプスフレームレート　タイムラプスするコマ数（間隔）を設定します。
●駐車監視衝撃録画　駐車中の衝撃度に応じて録画します。「高」は高感度、「低」低感度となります。

日付・時間設定

メニューボタンをタッチして、日付・時間を選択してください。
手動で日付・時間を設定します。日付の設定に正しい日付を選択して、確認をタッチしてください。

時間の設定に正しい時間を選択して、確認をタッチしてください。
※ GPSアンテナ（オプション）を取り付けた場合は、GPSにて自動設定されますので、日付・時間設定は必要ありません。

正面・背面カメラ切り替え

カメラを接続し㊾ボタンをタッチして、フロントカメラとリアカメラの画面表示を切り替えます。

イベント録画

録画中、センサーによって、揺れや衝撃を設定した感度で検知すると自動的に録画ファイルをロックします。緊急時にロックされた映像と衝撃を検知した映像は自動的に緊急ロックフォルダに保存されます。ロックされた映像は上書きされません。
※ロックファイル上書き設定を「オン」にした場合は上書きされます。
　ロック録画をする時、緊急ロックボタンはイエローになります。

録画画面の緊急ボタンをタッチして、手動で録画したビデオをロックできます。
状況により適切なレベル（ オフ / 高 / 中 / 低 ）を選択してください。
【メニュー設定】＞【衝撃センサー】をタッチしてください。



ご注意
ロックファイルの容量は総容量の20%以上に達すると以前のロックファイルは新たなビデオに上書きされます。定期的にコンピューターへ重要なファイルを保存してください。
また、書き込み速度を維持するため1ヶ月ごとにmicroSDカードをフォーマットしてください。

画像・動画の再生

ホーム画面の動画／画像の再生ボタンをタッチして、本機モニターで動画／画像を再生します。
※画像は説明用となります。



通常動画　緊急ロック動画　画像　車両イラストをタッチしてフロント・リアの録画データを切り替えます。

ご注意：動画を再生するため、録画を停止してください。

ファイルの削除・ロック

削除／ロックが必要なビデオファイルをクリックし、下記のように作業を行ってください。

ファイルを削除する場合は、アイコンをクリックして動画を削除する

アイコンをクリックすると、アイコンの色が黄色になり、このビデオがロックされます。

ボイスコントロール

【メニュー設定】>【ボイスコントロール】をタッチしてください。
オンにすると音声での操作が可能です。音声で操作できるキーワードは下記となります。

●モニターオン ●モニターオフ ●フロントカメラ ●ビデオをロック
●バックカメラ ●前後カメラ ●録音開始 ●録音終了 ●写真を撮る

輝度調整

手動で輝度を調整可能です。指でスクリーンをタッチして、
左右へスクリーンをスライドして、輝度を調整します。



※液晶画面の明るさ調整となります。周囲の明るさに応じてカメラ側で自動調光を行った場合、
画面の明るさや色調が変化しますが、これは自動補正機能で故障ではありません。

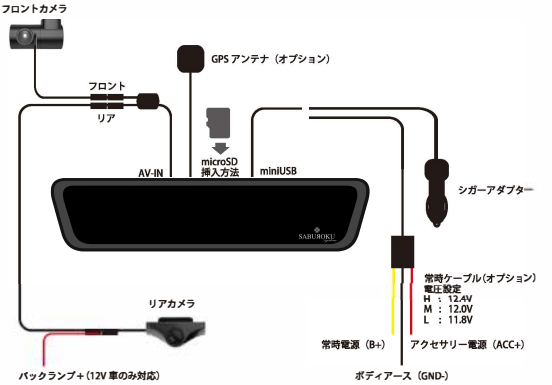
リアカメラズーム設定

【メニュー設定】>【リアカメラズーム設定】をタッチしてください。
＋、－、ボタンをタッチし、任意の大きさに設定してください。
設定後、戻るボタンでメニューに戻ります。
リアカメラ画面をタッチしメニューバーを表示したあと、ズームボタンをタッチします。
タッチを繰り返しノーマル画面とズーム画面の切り替えができる事を確認します。



専用GPS受信機の取付

1. 本体にGPSアンテナ（オプション）を取付けてください。GPS信号の受信を開始します。



2. GPS信号を受信した後、ホーム画面の左下に方角と速度が表示されます。



3. 経度/緯度、スピード/針路、GPS受信状態、GPS信号強度などの情報を確認したい場合にメニュー設定のGPS情報を選択してください。



駐車監視録画について

駐車監視録画をおこなうには、設定メニューの「駐車監視衝撃録画」を低/中/高のいずれかに設定してください。

駐車監視衝撃録画(オプション常時ケーブル接続時のみ対応)

車両エンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本機の電源がオフになります。
本機の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になり、本機に搭載されたセンサーが衝撃を感知すると、自動的に約30秒間の緊急録画をおこない、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。
車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



ご注意

- 「駐車監視衝撃録画」をオフに設定すると、衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されません。
  駐車監視の設定については P28「設定メニュー画面」を参照してください。
- 衝撃検知録画はバッテリーによって動作します。バッテリーの状態によって衝撃検知録画が稼働できる時間は異なります。
- 衝撃検知録画で撮影された映像ファイルはロックされ、上書きされません。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- 衝撃検知録画スタンバイ状態は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
  衝撃を検知した場合は液晶画面が自動的にオンとなり、録画終了後オフになります。
- 常時ケーブル(オプション)を接続し、タイムラプス時間を設定した場合は、タイムラプス録画終了後、衝撃検知録画に切り替わります。
  (供給電圧が設定した電圧以下になると電源供給を停止し録画を行いません)
- 本体内の衝撃センサーにて動作するためリアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

PCビューアーについて(GPSアンテナ取り付け時)

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

PC動作推奨環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10 / 11 (64bit)
CPU	2.2GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 133MHz 以上
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります

●Macには対応していません。
●すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
●お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
●機能改良のため、PCビューワーソフトのアップデートを行う場合があります。詳しくはホームページを参照ください。
※地図表示等が変更される場合があります。あらかじめご了承ください

PCビューワーソフトダウンロードについて

以下、弊社ホームページより専用PCビューワーソフトをダウンロードしてください。
使用方法などの詳細な説明はホームページ上にあります。

https://saburoku-system.com/drmr490/

⚠ ご注意

・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
・上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。
・仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
・パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

ビューワーソフトで映像ファイルを再生する手順

1. playerをダブルクリックしてソフトを起動します。本体から取り出したmicroSDカードを
パソコンに挿入します。次にウィンドウ左上の「ファイル」から「開く」を選択します。
再生したいファイルを選択し、「開く」をクリックします。

2. ファイルの再生が始まり、その後、地図、速度が表示されます。
※インターネット接続環境により表示まで時間がかかる場合がございます。
※オプションのGPSアンテナが装着されていない場合は、地図、速度などGPSに関する情報
は表示されません。

※microSDカードの読み込みが遅い場合は、一度パソコンにデータをインストールしてから
再生してください。パソコンの性能やOSにより再生できない場合がございます。

最大録画可能時間について

通常録画

microSD カード容量	最大録画可能時間
	1080P
8GB	約40分
16GB	約1時間20分
32GB	約2時間40分
64GB	約5時間20分
128GB	約10時間45分

※フロント＋リアカメラの場合。
※microSDカードのシステム領域は含まれません。

- 最大録画可能時間はあくまで目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
  ※ファイル保存割当　常時録画・・・80% 緊急録画・・・20%
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当の上限に達すると、緊急録画をおこなうことができなくなります。必要に応じてファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをおこなってください。

タイムラプス録画（オプションの常時ケーブル接続時）

microSD カード容量	最大録画可能時間	
	1fps/秒	5fps/秒
8GB	約27時間	約5時間30分
16GB	約48時間	約11時間
32GB	約48時間	約22時間
64GB	約48時間	約44時間
128GB	約48時間	約48時間

※最大録画設定時間は48時間となります

※フロント＋リアカメラの場合。
※microSDカードのシステム領域は含まれません。

- 最大録画可能時間はあくまで目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
  ※ファイル保存割当　常時録画・・・80% 緊急録画・・・20%
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当の上限に達すると、緊急録画をおこなうことができなくなります。必要に応じてファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをおこなってください。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーライターや電源に確実に差し込まれているかを確認してください。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-20℃～+70℃」温度環境下で使用できます。リアカメラは「-10℃～+60℃」
誤作動をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	―
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。 または、電源を切った状態でmicroSDカードの抜き差しを行ってください。 ●UHS-3等の規格外microSDカードを使用していませんか？必ず規格に合わせたmicroSDカードをご使用ください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	●本体音量がオフになっていませんか？	●設定メニューの「音量」から設定を変更してください。
GPSが受信できない GPSアンテナ取り付け時のみ	●GPSユニットは接続されていますか？	●GPSユニットを本機に接続してください(オプション)
	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	●本機を起動したばかりではありませんか？	●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。

トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
GPSが受信できない GPSアンテナ取り付け時のみ	●他のGPSアンテナやレーダー探知装置等の近くに本機のGPSアンテナを配置していませんか	●GPSアンテナの干渉により正常に動作していない可能性があります。他のGPSアンテナやレーダー探知装置と離して配置してください。
再起動する場合がある	●エンジン始動直後やアイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによってアイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。 ●エンジン始動時に電圧低下する車両はエンジン始動後に電源を接続してください。
	●電源の分岐による電力不足のため再起動する場合があります。	●分岐せず十分な電気が供給される部分に接続してください。
	●microSDカードの不具合や規格外のカードを使用した場合、正常に動作しない場合があります。	●カードの規格をご確認の上、フォーマットするか他のSDカードを入れてください。
信号機表示が消えてしまう		●本製品は、LED信号に対応した製品ですが、映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●センサー感度の設定が適切ではない可能性があります。 ※振動が大きい車両、ローダウン車、マフラー交換した車両は緊急録画が頻繁に行われますのでOFFに設定してください。	●設定メニューの「衝撃センサー」から設定を変更してください。 ●ミラー固定用フックのラバー以外の部分が純正ミラーに触れていないか再度ご確認ください。
日時表示がずれている GPSアンテナ（オプション）取り付け時のみ	タイムゾーン設定がGMT+9以外になっていませんか	設定メニューの「タイムゾーン設定」→「GMT+9」に設定を変更してください。

トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
方位表示が正確に表示されない GPSアンテナ（オプション）取り付け時のみ	●今いる場所の磁気の影響や他の電子機器の影響を受けて正確に表示しない場合があります。 ●高架下、ビルの谷間などは受信できない場合があります。	－
リアカメラ接続不良と表示される	●電圧低下により接続不良と表示することがあります。 ※瞬間的な電圧変動により表示する場合もございます。	●車両の電圧を確認してください。 分岐タップなども電圧低下の原因となるためおやめください。
	●接続端子が奥まで差し込まれていますか？	●配線接続をもう一度ご確認ください。
	●リアカメラ配線に傷、折れ、圧迫された部分はありませんか	●リアカメラ配線に傷、折れ、圧迫した部分がある場合は、正常に動作しない場合があります。この場合は新しい配線と交換してください。
	●microSDカードの不具合や規格外のカードを使用した場合、正常に動作しない場合があります。	●カードの規格をご確認の上、フォーマットするか他のSDカードを入れてください。
画面をタッチしてもメニュー画面が表示されない ガイドラインの表示が消えない	●リアカメラのバックランプ＋線をアクセサリー電源などに接続していませんか？	●バックランプ＋線をバックギアに入れ電源が流れる＋配線に接続してください。
画像がぼけるまたはピントが合わない	●カメラのレンズが汚れている	●付属のウエスでレンズ表面の汚れを拭き取ってください。
	●カメラのレンズ表面に傷がある	●修理または交換が必要です。 お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

本体仕様

型番	DRMR490
商品名	スマートルームミラー一前後ドラレコ付
ディスプレイ	11.7インチ タッチパネルIPS液晶(静電式)
レンズ	207万画素カラーCMOS F値2.0
カメラ画角	水平：102° 垂直：53° 対角：125°
フレームレート	27.5fps
録画ファイル単位	1分 / 2分 / 3分
動画解像度	FHD (1920×1080) ※1280×720 (フロントのみ設定可能)
静止画解像度	FHD (1920×1080)
音声録音	オン/オフ設定可能
衝撃センサー	オフ/高/中/低
駐車監視モード (オプション常時ケーブル接続時)	衝撃検知録画/タイムラプス録画 ※供給電圧が低くなった場合動作しません
動画ファイル	TS
静止画ファイル	JPEG
映像外部入力	専用リアカメラ入力
使用電圧	DC12V/24V
消費電力	最大12W
内蔵バッテリー	スーパーキャパシタ
本体寸法(mm)	301(W) × 72(H) × 17.5(D)
本体重量	約350g
動作温度	-20℃～+70℃
保存温度	-30℃～+80℃

仕様（つづき）

リアカメラ仕様

レンズ	207万画素カラーCMOS F値1.8
カメラ画角	水平：115° 垂直：60° 対角：128°
フレームレート	27.5fps
動画解像度	FHD（1920×1080）
静止画解像度	FHD（1920×1080）
動画ファイル	TS
静止画ファイル	JPEG
使用電圧	5V
消費電力	最大2.3W
本体寸法(mm)	59(W) × 24(H) × 31(D)
本体重量	約47g
動作温度	−10℃ ～ +60℃
保存温度	−20℃ ～ +70℃
付属品	リアカメラケーブル10m

※紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの ショップにてご連絡ください。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※本製品で使用されている画像・イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。